

年末大掃除を迎えて～

蚊の発生源をなくすには

～シーズンオフにできること～

デング熱は蚊が媒介する感染症です。

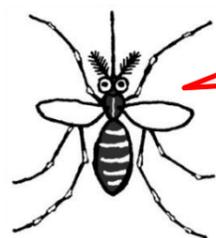
平成26年8月末に約70年ぶりにデング熱の国内での感染が確認され、160名以上の患者が報告されました。

平成27年は、国内での感染の報告はありませんでしたが、今後も注意が必要です。

デング熱を媒介するヒトスジシマカの活動シーズンは5月中旬～10月下旬です。

ヒトスジシマカは、秋になり気温が下がると成虫は死んでしましますが、卵の状態です。

年末大掃除の時から、家の周りの発生源をなくすように心がけることにより、来年の蚊の発生を減らすことができます。



蚊はデング熱などの感染症を媒介します！

不要な水溜りをなくす

例えば・・・

・落ち葉が溜まって、水溜まりにならないように定期的に清掃をする

・タイヤにはビニールシート等を被せる
・ビニールシート等のたるみをなくす
・不要なタイヤは放置しない

侵入防止対策

・穴のあいた網戸は穴をふさぐ

身の回りで出来ることは？

対策は継続することが大切！

対策のポイントは

◎発生源となる不要な水溜まりをなくすことです。

- ・幼虫（ボウフラ）が育つ水溜まりをなくすよう、みなさんの家庭で点検をしましょう。
- ・今年、屋外で雨ざらしになっていた容器などには、卵が残っている可能性があります。今のうちに片付けましょう。

◎侵入防止

- ・網戸の点検をしましょう。
- ・穴のあいた網戸は、穴をふさいだり、新しく張り替えましょう。



・整理整頓して水が溜まる場所をなくす

・鉢植えの受け皿の水はこまめに捨てる

・落ち葉が溜まって、水溜まりにならないように定期的に清掃をする